



健幸人



高島亮さん(以下、高島) はい、別々に執筆しているのに照りし合わせたかのような内容になつていたり、文章の一節がまったくねじだつたり……たとえば「明るい」は「あ、軽い」というフレーズも、そうでしたね。周平さんはヒーリングという観点から、僕は語源や言葉ひとつでの使われ方といった観点から、それぞれ「明るい」は「あ、軽い」を説明せんやうにました。

前回では「運に良し悪し」と関わりながら運ばれていくもの)のことを「運」と呼び、運を良くやるのではなく運と仲良く(運を味方に)する方法についての共通した認識をあつたため確認しました。周りの皆さんがよく「似てる」と言われる僕たちですが、執筆を一緒にせいでいただくなからでも、たまごまなシンクロ現象がありましたね。

2024年春に出版された高島亮さんと島海周平の共著『運』のミカタ】(ワニ・ブックス)から、前回に引き続き本編末掲載の特別対談をお届けします。

「明るい」は「あ、軽い」

ヒーリング前…黒っぽいモヤ、重い、暗い感じ
冷たい感じ
ヒーリング後…クリアになる、軽い、明るい感じ、
温かく感じる

キレイに使つてゐること、世界の富豪に共通して
いるのが、トイレがキレイで蓋が閉まつてゐること
だつたり、靴をきちんと揃えてゐることだつたり
といったように「身の周りをいつもキレイにして
いる」という共通点があるのです。

鳴海 本書のなかで亮さんが書かれていた「光がない（少ない）暗さは、小さもなくなるので重くなる」と云ふことに通じますね。

鳴海 たしかに、整った部屋は「あ、軽い(明るくして
軽ら)」感じがしますよね。

とくに、玄関や窓といった「風」がとおる場所や、
トイレ、洗面所、台所などの「水」まわりを整えると
「氣」の流れがよくなる」とがわかります。

『運』のミカタ』共著者・高島亮さんプロフィール
新潟県生まれ。東京大学卒業後、大手化粧メーカー、出版社勤務を経て、株式会社「ぶれいーど」を設立、代表取締役になる。小林正觀さんの教えを伝える「正觀塾」師範代としても活動。講演会や講座の主催、自らの執筆や講演活動を通じて、「毎日が楽に楽しく豊かになる」きっかけやヒントを提供している。著書に『「おまかせ」で今を生きる』(廣済堂出版)『運』のミカタ』(鳴海周平との共著ワニ・プラス)などがある。

鳴海 ウツッキー、ウツッキーついひとですか(笑)……
英会話も教えてもらひえやうですね。

高島 ……それは、ウイツキーさんですね……って、この会話「あ、軽い」です(笑)

「あ、軽い」を簡単に実現する方法

鳴海周平プロフィール

1971年北海道生まれ。心身の活動を高める製品の開発・普及をおこなう㈱エヌ・ピュア代表。健幸エッセイスト、ヒーラーとしても、ラジオ番組や講演、ブログ、著作などを通じて「こころとからだの健幸情報」を発信している。著書に『医者いらずになる 1分間健康法』(帯津良一氏との共著)『小食・不食・快食』の時代へ』(はせくらみゆき氏との共著)『ここまでワニ・プラス刊』『1分間ヒーリング』(徳間書店刊)などがある。最新刊は『運』のミカタ』(ワニ・プラス)。



アメーバブログ
<https://ameblo.jp/npure/>

エヌ・ピュア公式サイト
<https://npure.co.jp>



友達登録
こちらから